

JFA第44回全日本U-12サッカー選手権大会 北海道大会 開 催 要 項

2020/9/25 更新 変更箇所を赤字で表示

- 1 主 旨 日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。
- この趣旨を受けて、公益財団法人北海道サッカー協会として本大会を実施し、JFA 第44回全日本 U-12サッカー選手権大会全国大会【2020年12月25日(金)～29日(火)】に北海道代表として出場するチームを決定する。
- 2 名 称 JFA 第44回全日本 U-12サッカー選手権大会 北海道大会
- 3 主 催 公益財団法人日本サッカー協会、公益財団法人北海道サッカー協会、
公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団、読売新聞社
- 4 主 管 公益財団法人 北海道スポーツ協会 北海道スポーツ少年団
一般社団法人札幌地区サッカー協会、苫小牧地区サッカー協会、
北空知地区サッカー協会、道北地区サッカー協会、根室地区サッカー協会
- 5 後 援 北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会、札幌テレビ放送、
芦別市、芦別市教育委員会、芦別市体育協会、日本テレビ放送網、報知新聞社
- 6 特 別 協 賛 YKK
- 7 協 賛 花王、日清オイリオグループ、ゼビオ、日本マクドナルド、カバヤ食品
- 8 開 催 協 力 (株)モルテン
- 9 日 程・会 場 ファーストラウンド 2020年 9月22日(火)、26日(土)、27日(日)
ファイナルラウンド 2020年10月11日(日)
* タイムテーブルは、各会場で異なるので、決定後改めて通知する。
- 【ファーストラウンド会場】
- 第一地区(函館・室蘭・苫小牧)
【9月26日】苫小牧市緑が丘競技場
- 第二地区(小樽・札幌・千歳・空知)
【9月27日】札幌市札幌サッカーアミューズメントパーク人工芝グラウンド
- 第三地区(北空知・旭川・道北・宗谷)
【9月22日】士別市つくもサッカー場
- 第四地区(十勝・釧路・根室・オホーツク)
【9月27日】中標津町運動公園
- 【ファイナルラウンド会場】芦別市なまこ山サッカー場
- 10 参 加 資 格
- (1) 「参加チーム」は大会実施年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)であること。別に定める地区割り当てにより所轄の地区協会が代表と認めたチームであること。
 - (2) 上記「参加チーム」の構成は単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
 - (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただし U-6選手の参加は認めないものとする。
 - (4) 「同一参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
 - (5) 女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一クラブ内の他の「加盟チ

- ーム」から参加させることも可能とする。ただし、前項(3)は適用される。
- (6) 「参加チーム」及び「参加選手」は、各地区の代表となったチーム・選手とする。当該チームの地区大会への登録選手が20名に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手の中から補充することができる。
- (7) 「参加チーム」はU-12リーグに参加していること。ただし、新型コロナウイルス感染症対応の影響により、所属するU-12リーグが開催されない場合、本項を適用外とする。
- (8) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上が(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
- (9) 「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- (10) 「参加チーム」は必ず『傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等』に加入していること。

11 参加チーム

とその数

12 大会形式

13 競技規則

14 競技会規定

各地区協会の代表1チームずつの計15チームとする

- (1) ファーストラウンドは、各地区において参加チームによる総当たりリーグ戦または、ノックアウト方式のトーナメント戦にて行う。
- (2) ファイナルラウンドは、ファーストラウンドを勝ち上がった4チームにおいて、ノックアウト方式のトーナメント戦にて行う。

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。

(1) 【競技のフィールド】

競技のフィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mとする。その他ペナルティーエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。(ペナルティーエリア:12m ペナルティーマーク:8m ペナルティーアークの半径:7m)ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。

※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。

交代ゾーン:自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける(ハーフウェーを挟んで3mずつ)

(2) 【ボール】

モルテン社製『ヴァンタッジオ5000キッズ(F4A5000 4号球)』とする

(3) 【競技者の数】

競技者の数:8名(8名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対3として敗戦したものとみなす。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する)

交代要員の数:8名以内。交代を行うことのできる数:制限なし。交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。

(4) 【ベンチ入りするチーム役員の数】

2名以上3名以下とする。(これに反した場合には、チーム役員に対し、大会規律委員会より懲罰を科す)なお、1名以上が(公財)日本サッカー協会公認資格(D級以上)を有すること。

(5) 【審判員】

主審、副審(2人)、予備審判の4名で運営する。

(6) 【テクニカルエリア】

設置する。

※その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を与えることができる

(7) 【競技者の用具・ユニフォーム】

①(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

②本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)

を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。

- ③正・副の2色については明確に異なる色とする。
 - ④審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - ⑤前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - ⑥ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - ⑦アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - ⑧アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - ⑨J クラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号⑧に準じる。
 - ⑩ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書(WEB 登録)の際に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK 用共)。本協会に登録されたものを原則とする。
 - ⑪シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
 - ⑫選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
 - ⑬ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
 - ⑭ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、2020年12月14日(月)までに(公財)日本サッカー協会に承認された場合にのみ認められる。
- ※(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規程第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外す

(8) 【試合時間】

- ①試合時間は ファイナルラウンドにおいては、40分(前後半各20分)とする。ファーストラウンドにおいては、会場の都合や選手の疲労などを考慮し試合時間を短くすることも可とする。ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は、10分間とする。
- ②ノックアウト方式のトーナメント戦規定の試合時間内に勝敗が決しない場合、いわゆるPK方式で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、ファイナルラウンドでは10分間(前後半各5分)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝利チームを決定する。延長戦に入る前のインターバルは、原則5分、ペナルティーマークからのキックに入るまでのインターバルは、原則1分とする。
- ③ファーストラウンドにおいてリーグ戦を行う場合の順位決定方法は勝ち点(勝利3点、引分1点、敗戦0点)の多い順とする。なお、勝ち点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。

1:全試合の得失点差 2:全試合の総得点 3:当該チーム同士の勝敗
4:抽選

- ④アディショナルタイムの表示は行う。
- (9) 【交代の手続き】
- ①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
- ②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
- ③交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
- ④交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
- ⑤ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- ※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- (10) 【負傷者の対応】
- 主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。
- 15 懲 罰
- (1) 本大会の予選は懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
- (2) 本大会は、(公財)日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (3) 大会規律委員会の委員長は、(公財)北海道サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。
- (4) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (5) 本大会期間中において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については本大会規律委員会において決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (6) 本大会諸規定および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。
- 16 大 会 参 加
申 し 込
- 一次登録はチーム当たり26名(役員6名・選手20名)を最大とする。
「参加チーム」は必要事項を記入し、参加申込書(1次登録)を以下に送付する。役員のうち1名を監督とする。
- (1) 参加申込書・プライバシーポリシー同意書の提出
所定の用紙を E メールで申込先 A 宛に提出する。
※申込を受けた地区協会はKICKOFFにて登録状況を確認し、申込先 B および C 宛に申し込みデータを提出すること。B へはプライバシーポリシー同意書も提出すること。
- (2) 大会参加料(27,500円:税込)の納入
申込締切日までに下記指定口座に納入する。
- (3) 親権者同意書の提出は、郵送で申込先 B 宛に送付する。
- (4) 選手変更・追加登録は、所属地区協会を通じて E メールにて申込み先 B に届け出のこと。2020年9月23日(水)必着。
- (5) 参加申込締切 2020年9月16日(水) 17:00
- (6) 「参加チーム」は最終登録として1次登録した指導者6名の中から2名以上3名以下・選手20名の中から16名を、各地区のファーストラウンド当日の監督会議の際に報告する。

【申込先 A】 A:所属地区サッカー協会

【申込先 B】 (公財)北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41

北海道フットボールセンター内

TEL (011)825-1100 FAX (011)825-1101

【申込先 C】 (公財)北海道サッカー協会 4種委員長 佐賀 主昌

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条6丁目5-43-403

TEL(090)9083-8753 FAX(011)818-8335

E-mail moriaki.saga@sapporo-c.ed.jp

【大会参加料及び審判不帯同料納入口座】

・大会参加料 27,500円(消費税込)

・審判不帯同料 18,700円(消費税込)

銀行名 北海道銀行 平岸支店

口座名 佐賀 主昌

口座番号 (普通)0755092

17 参 加 料 27,500円(税込)

18 選 手 証 出場チームは、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。但し、写真添付により、顔の認識できるものであること。

※選手証とは、WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンや PC 等の画面に表示したものと示す

19 組 合 せ ファーストラウンドについては、各地区において9月1日(火)までに決定し、4種委員長:佐賀へ報告をする。【(公財)北海道サッカー協会HP情報・4種にて確認のこと。】ファイナルラウンド:準決勝は、第1試合:第1地区勝ち上がりチーム対第2地区勝ち上がりチーム、第2試合:第三地区勝ち上がりチーム対第4地区勝ち上がりチームとする。

20 帯同審判員 (1) 出場チームは(公財)日本サッカー協会審判員(2級以上)を帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。
(2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。(監督が帯同審判員を兼ねることはできない)
(3) 帯同できない場合は、不帯同料として18,700円(税込)を大会参加料と同時に納入すること。

21 監 督 会 議 ファーストラウンド、ファイナルラウンド各会場で大会本部において行う。(開始時刻は、後日通知。)監督は必ず出席のこと。欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。

22 開 会 式 ファーストラウンド・ファイナルラウンドを通して実施しない。

23 閉 会 式 2020年10月11日(日) 決勝戦終了後 大会本部前において行う。準決勝まで残ったチームの選手・監督は全員参加することとする。

24 そ の 他 (1) 優勝チームは(公財)北海道サッカー協会のホームページにおいて写真入りで紹介する。
(2) 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。
(3) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本大会運営実行委員会(主管地区協会理事長、競技委員長、審判委員長などで構成)において協議の上、対処する。中断・中止・延期があるので留意のこと。
(4) 全国大会への出場権は北海道大会で優勝チーム・選手に与えられる。当該チームの北海道大会での登録数が20名に満たない場合は、同一クラブ内の選手から補充することができる。
(5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、(公財)北海道サッカー協会策定のガイドラインに沿って大会運営を行っていく。
(6) 本競技会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チ

- ムの感染対策担当者とミーティングを実施する。
- (7) 大会参加チームは、新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドラインやチェックリストに沿って行動し、感染拡大の予防に努めること。なお、大会の途中で、関係者から感染者が出た場合は、本大会運営委員会において協議の上対応する。